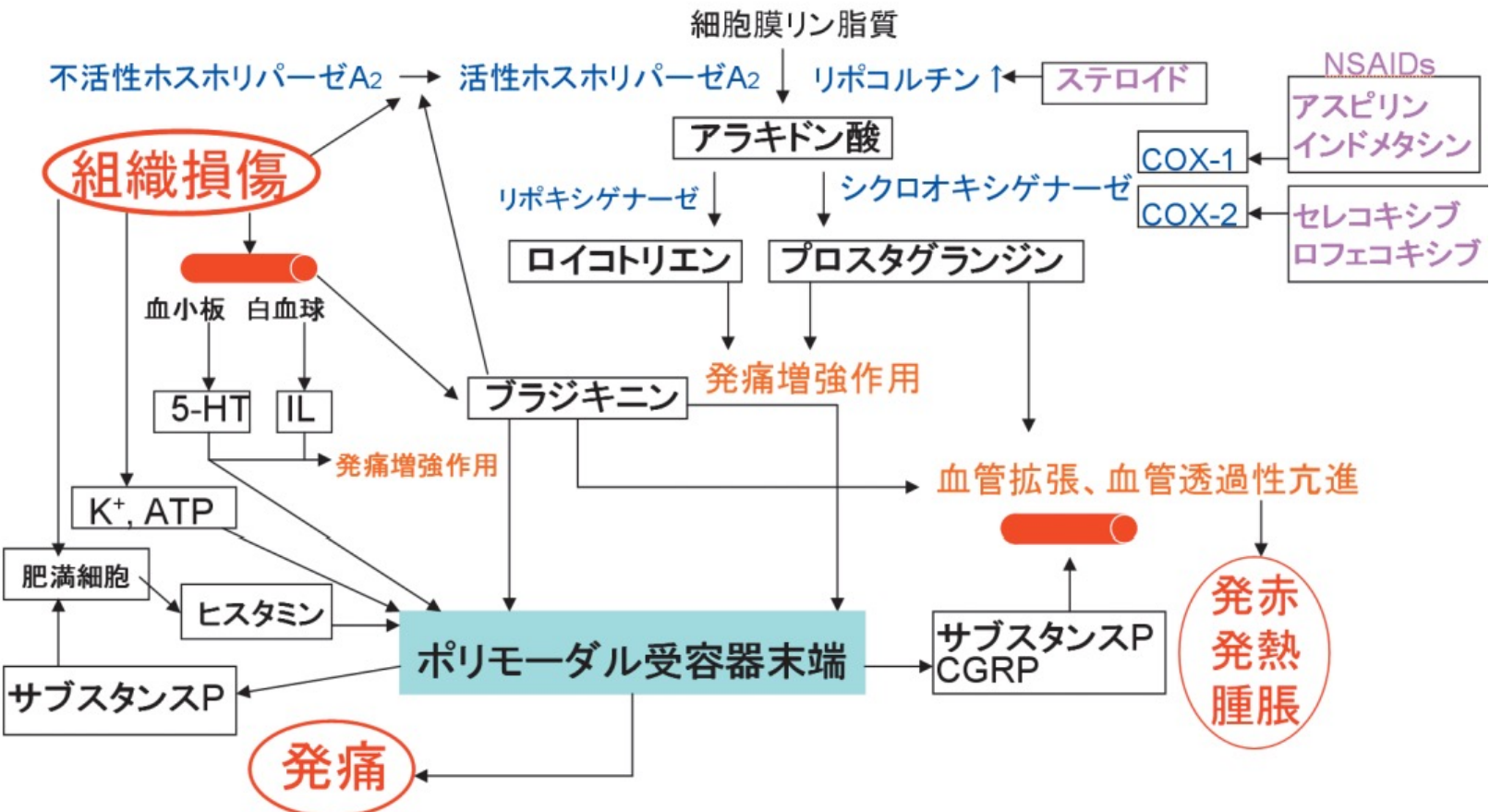


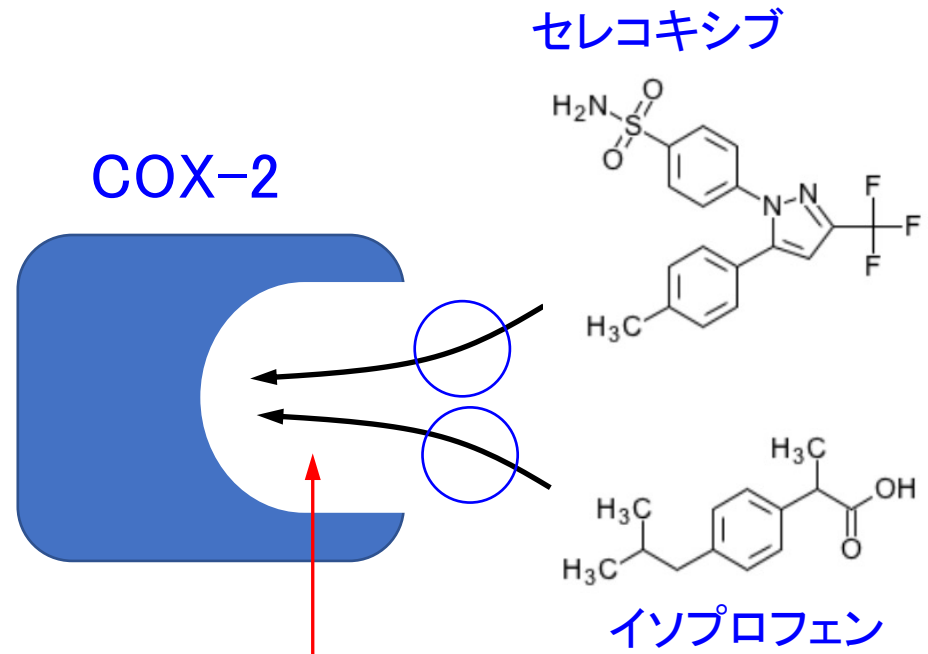
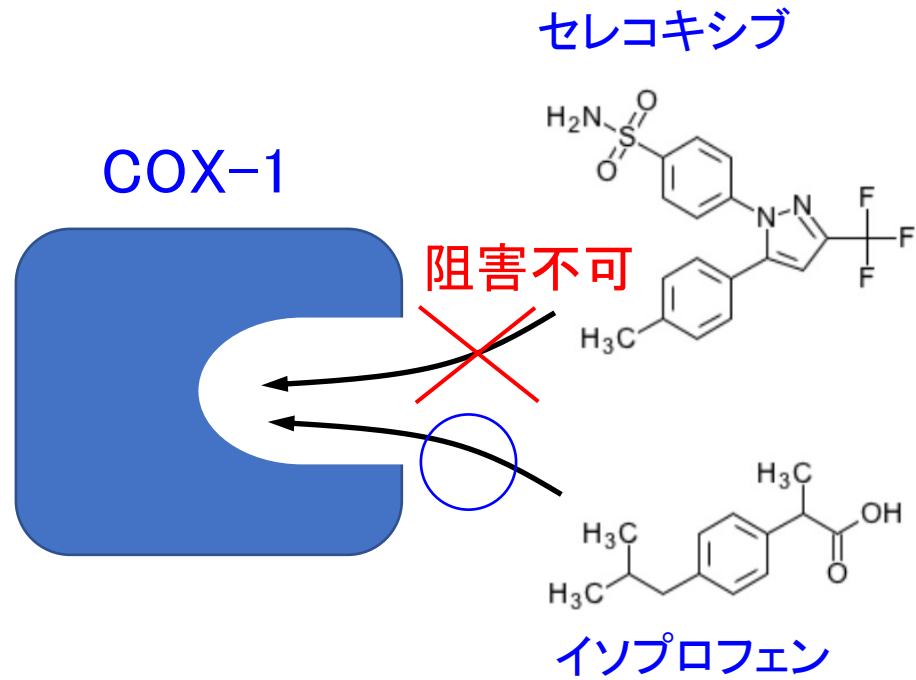
名称	存在する場所	備考
COX-1	胃粘膜、腎臓、血小板などの細胞	常に存在
COX-2	炎症が起こっている部位	炎症が起こると生成

←阻害すると、胃の粘膜を保護することができなくなるので、胃腸薬も併せて飲む必要性があります



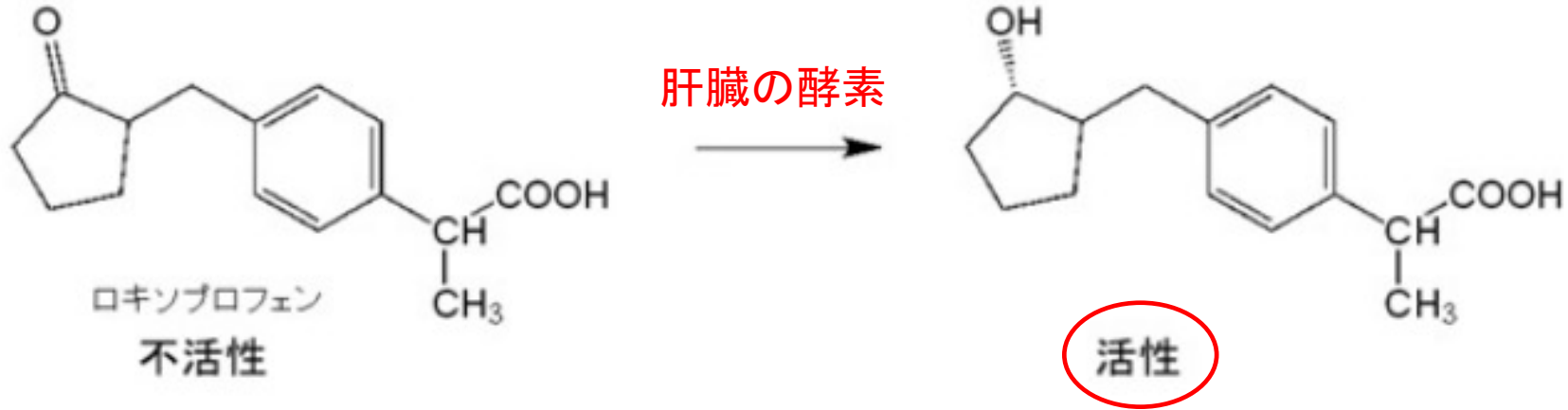
出典: [http://aichi-npopt.jp/dl/ppr\\_18\\_02\\_koeda.pdf](http://aichi-npopt.jp/dl/ppr_18_02_koeda.pdf)

# 分子の大きさ セレコキシブ > イソプロフェン



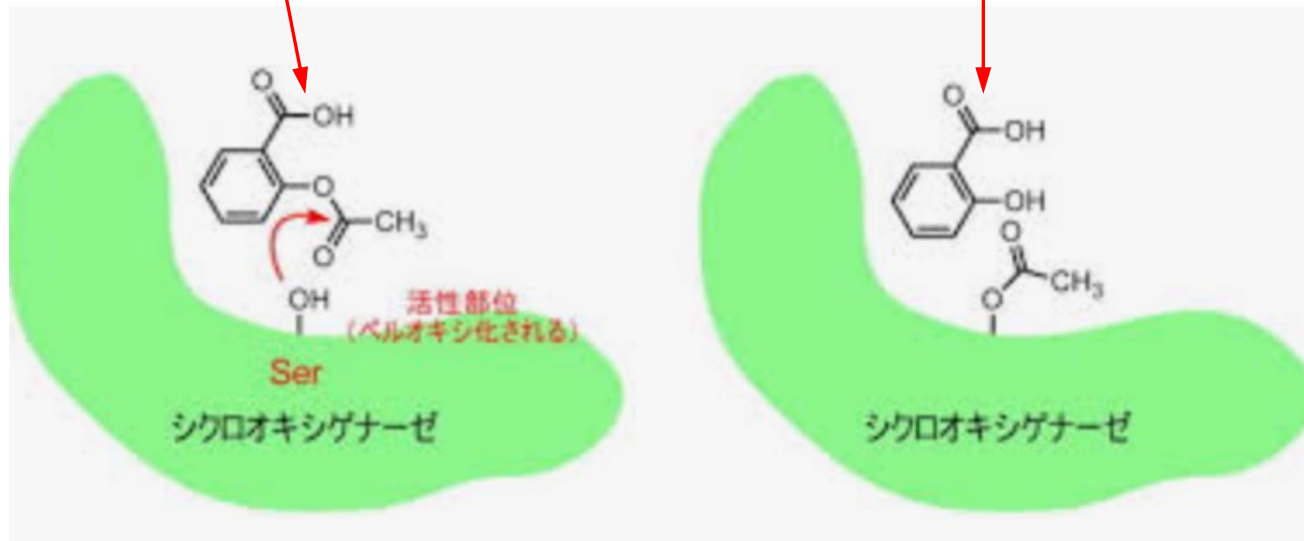
窪みがCOX-1より大きい

# ロキソプロフェン



COXを阻害する力が弱い

# アスピリン → サリチル酸



アスピリンは解熱剤の効用よりも最近では、**血栓予防剤**として用いられる